

## 令和4年度の主な事業報告

社会福祉法人 霞 会

### 社会福祉事業

#### 各事業の活動報告

法人設立から18年目を向かえ、自主事業の特別養護老人ホームふるさとの開設から17年目、デイサービスセンターふるさとの開設から16年目を向かえることが出来ました。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設内行事及び研修等が縮小又はオンライン開催が多くなりましたが、当法人においてはクラスター等の発生もなく、感染症対策には十分に注意しながら事業を進めることができました。

### ☆法人本部

監事監査 令和4年5月26日 監事2名による監事監査

#### 理事会

開催日	議題内容
令和4年6月3日	第1号報告 監事監査報告について 第2号報告 社会福祉法人充実残額について 第3号報告 借入金借り換え完了及び抵当権抹消・及び設定について 第4号報告 24時間テレビ車両贈呈及び中古車両の購入について 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について 第3号議案 補助金を活用した特殊浴槽の購入入れ替えについて 第4号議案 令和4年度第1回評議員会開催(案)について
令和4年12月21日	第1号報告 補助金を活用した特殊浴槽の入替完了について 第1号議案 令和4年度上期決算報告(案) 第2号議案 令和4年度上期事業報告(案)
令和5年3月15日	第1号議案 令和4年度収支補正予算(案)

第2号議案 令和5年度 事業計画（案）  
 第3号議案 令和5年度 収支予算（案）  
 第4号議案 令和4年度第2回評議員会開催  
 （案）について

		評議会	
開催日		議題内容	
令和 4年 6月23日	第1号報告	監事監査報告について	
	第2号報告	社会福祉法人充実残額について	
	第3号報告	借入金の借り換え完了及び抵当権 抹消・設定について	
	第1号議案	令和3年度 事業報告	
	第2号議案	令和3年度 決算報告	
	令和 5年 3月30日	第1号議案	令和4年度収支補正予算について
	第2号議案	令和5年度事業計画について	
	第3号議案	令和5年度収支予算について	

#### 借入金返済状況

令和3年度より行った常陽銀行からの借入金の借換えにより、今年は4月に国民金融公庫、5月に（独）医療機構の借入金の返済を全額完済しました。また、常陽銀行の借入金については毎月返済を滞りなく行いました。

#### 役員人事

理事6名、監事2名、評議員7名 前年度同様変更なし。

#### 利用状況

### ☆特別養護老人ホーム ふるさと

#### ①令和4年度年間要介護度別入居状況〔延べ人数〕

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	11	45	76	76	208
女	0	26	152	109	55	342
計	0	37	197	185	131	550

（年度末時点での有効な要介護度より算出しています）

#### ②令和4年度介護度別平均年齢・平均介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計平均年齢	平均介護度
男	—	87.01	86.70	85.24	80.65	83.97	4.0
女	—	91.15	87.16	90.44	89.77	88.93	3.6
計	—	89.92	87.06	88.30	84.48	87.05	3.7

特別養護老人ホーム ふるさと（短期入所生活介護含む）

《 処 遇 》

ご利用者様個人の生活スタイルを大切にして、その人らしく生活することができる環境づくりに努めると共に、家庭でのあたりまえの生活をあたりまえに行うようユニット運営を行ってまいりました。

i：行事

季節の行事、伝統行事を大切にし、施設全体・各ユニットでの行事として行いました。

全体行事： 新型コロナウイルス感染症の影響により中止、各ユニットにて敬老会  
ふるさと祭りを行いました

ユニット行事： セタ クリスマス会、施設外周の散歩、その他ユニットクッキング

ii：ボランティア・慰問

新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア・慰問については全て中止としました。

iii：研修・勉強会

（外部研修・老協委員会への参加）

- 外 部 研 修
- ・ 5月26日 経営青年会セミナー 2名
  - ・ 6月 6日～6月8日 研修担当者研修 1名
  - ・ 7月14日 合同入職式 入職者2名 引率2名
  - ・ 8月 3日 経営協北関東災害企画委員会 1名
  - ・ 8月 5日 施設長・管理者研修 2名
  - ・ 8月24日 茨城県 DWAT リーダー研修 1名
  - ・ 8月26日 経営青年会講演会 2名
  - ・ 8月31日 経営協前期セミナー 1名
  - ・ 9月 6日 BCP フォローアップ研修 1名
  - ・ 10月12～14日 経営青年会全国大会 2名
  - ・ 10月26日 看取り研修（オンライン）6名
  - ・ 11月11日 介護フェス 4名
  - ・ 11月18日 経営協セミナー 1名
  - ・ 11月29日 メンタルヘルス研修会 2名
  - ・ 12月 2日 ヘビークレーム研修 2名
  - ・ 12月 7日 地域ワークショップ講師研修 1名
  - ・ 1月20日 企業人権啓発研修 1名
  - ・ 1月26～27日 全国老人福祉施設協議会大会 2名
  - ・ 2月1日～2日 経営協災害企画研修担当者 研修 1名
  - ・ 2月9日～10日 関東ブロック経営青年会 研修 2名
  - ・ 2月20日 成年後見制度研修 1名
  - ・ 3月 8日 苦情解決責任者研修

- 行 事
- ・ デイサービス 毎月クッキングを開催
  - ・ 9月 2日 健康診断
  - ・ 9月21日 各ユニット・デイサービスにおいて敬老会
  - ・ 9月27日 総合避難訓練
  - ・ 9月28日 入居検討委員会
  - ・ 10月28日 ふるさと祭り（各ユニット及びデイサービス）

- ・ 12月19日 消防訓練
- ・ 1月10日 呼集訓練
- ・ 3月 6日 夜勤者健康診断
- ・ 3月30日 消防訓練

職員入職・退職 R3、4月1日～R4、3月31日 入職者 3名（正職員2名、パート1名）・  
退職者 2名（正職員1名・パート職員1名）

（勉強会・内部研修）

リスクマネジメント、身体拘束研修、BCPの策定研修 外部講師（烏野猛先生）  
事業計画研修（施設内研修 施設長）  
リーダー研修 外部講師 中浜崇之氏  
◎集合研修を避け、動画での各自研修とした

## ☆短期入所生活介護

### ①短期入所生活介護（介護予防含む） 令和4年度要介護度別利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	男	0	0	12	18	54	16	1	101
	女	0	0	59	146	40	104	93	442
	計	0	0	71	164	94	120	94	543

### ②短期入所生活介護（介護予防含む） 令和4年度要介護度別平均年齢

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男			84.78	84.77	82.43	84.09	83.42	83.41	2.7
女			90.26	91.56	87.66	85.98	82.40	87.80	3.1
計			89.33	90.81	84.66	85.73	82.41	86.97	3.0

## ☆デイサービスセンター ふるさと

デイサービスセンターふるさとは16年目を向かえ、地域介護の拠点となるべく活動してまいりました。

令和4年度は、前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出やボランティア慰問、リハビリ体操教室が中止となり、交流の機会がなくなりましたが、その中でも余暇の時間、主にクッキングなどを中心に、楽しんでいただくデイサービス作りを行いました。

### ・処遇、行事

昨年同様に令和4年度も利用者一人ひとりのご希望に副った内容に心がけてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会無くなりましたが、個別で行えるワーク、職員による体操などを取り入れて行いました。

① 通所介護（介護予防含む）令和4年度要介護度別利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	男	0	20	311	245	453	197	0	1,226
	女	50	55	181	702	364	102	186	1,640
	計	50	75	492	947	817	299	186	2,866

令和4年度デイサービスセンターふるさと事業報告

4月14日(木)…デイクッキング「フルーツどら焼き」  
 6月9日(木)…デイクッキング「ワンプレートパンケーキ」  
 7月14日(木)…デイクッキング「お好み焼き」  
 8月24日(水)…デイクッキング「クリームパフェ」  
 9月21日(水)…敬老の日「お祝い御膳：松花堂」「生菓子」  
 10月4日(火)…デイクッキング「フルーツサンド」  
 10月25日(火)…ふるさとまつりレクリエーション  
 10月26日(水)…ふるさとまつりレクリエーション  
 10月27日(木)…ふるさとまつりレクリエーション「昼食：バイキング」  
 11月25日(金)…デイクッキング「ピザパン」  
 11月29日(金)…デイクッキング「ピザパン」  
 12月21日(水)…デイクッキング「チョコレートケーキ」  
 12月22日(木)…デイクッキング「チョコレートケーキ」  
 12月23日(金)…デイクッキング「チョコレートケーキ」  
 1月24日(火)…デイクッキング「フルーツプリン」  
 1月25日(水)…デイクッキング「フルーツサンド」  
 2月22日(水)…デイクッキング「スティックラスク・スティックお好み焼き風」  
 2月23日(木)…デイクッキング「スティックラスク・スティックお好み焼き風」  
 3月20日(月)…デイクッキング「ようかんサンド・ツナサンド」  
 3月22日(水)…デイクッキング「ようかんサンド・ツナサンド」

※「新型コロナウイルス感染症」拡大防止・予防のため、外出行事・外部交流会・ボランティア交流会・シルバーリハビリ体操は中止となりました。

【活動報告】

創作活動：毎月のカレンダー作成 貼り絵 塗り絵 季節行事の作品づくり 他  
 脳トレプリント：計算 パズル 文字 間違い探し 他  
 機能訓練：リハビリ体操 平行棒 滑車運動 ラジオ体操 嚥下体操の実施  
 裁縫 洗濯物干し たたみ 下膳 等の軽作業  
 昼食準備（テーブル拭き等）などの作業をお願いする、または職員と行うことで達成感を得る。  
 移動スーパー「カスミ」買物  
 中庭散策 わかぐり公園散策 外気浴

避難消防訓練：呼集訓練・令和4年12月28日(水)午後8時より実施

避難訓練・令和4年9月27日(火)実施

令和4年12月19日(月)実施

令和5年3月31日(金)実施

## ふるさと医務室 令和4年度 事業報告

### 目標

一人ひとりに寄り添い、温もりある看護を目指す。

多職種と連携・協働により、入居者・利用者様の健康をささえ、安心して生活が送れるように援助する。

入居者・利用者様、ご家族との信頼関係を構築する。

### 計画

#### <1> 入居者・利用者様の、日々の健康状態の把握と管理

- ・朝夕の申し送り、多職種随時連絡の取り合いについては、事務所にて毎朝、各ユニットへ朝夕、その他書面（PCほのぼの、各種送りノート）にて実施できた。
- ・健康診断（1回/年）については、9月2日に対象者40名実施できた。
- ・コロナ予防接種については、4回目7月20日38名、8月26日8名、オミクロン株対応(2価)ワクチン11月24日41名、12月8日6名、それぞれ実施できた。
- ・インフルエンザ予防接種については、10月13日、対象者50名全員実施できた。
- ・肺炎球菌予防接種（希望者）については、1名希望され、9月22日実施できた。
- ・嘱託医往診については、毎週2回、火曜日と木曜日に実施された。コロナ対策として7月14日からFAXによる状態報告、指示を頂き遠隔往診とし、8月18日より往診再開とした。
- ・歯科往診については、毎週火曜日に実施された。コロナ対策として、7月19日より往診見合わせ、9月6日より往診再開とした。
- ・理学療法士によるリハビリ指導については、月に1回実施予定であったが、コロナの影響にて訪問が困難となり、今年度は実施できなかった。
- ・体調に応じ、嘱託医指示のもと、採血・受診・検査等を実施できた。定期採血3ヶ月毎であるが、内服薬、疾病により毎月の採血など必要性に合わせ対応し、健康管理の強化が図れた。
- ・入居者・利用者様の健康状態と定時薬を把握し適切な服薬ができるよう医師と相談しながら随時見直しを行ってゆくことについては、嘱託医への早期報告や相談にて指示を仰ぎ、調剤薬局と連携を取りながら、内服薬の形状、体調や嚥下機能に応じた対応、調整を行うことができた。
- ・状態変動時、本人・ご家族への適切な説明、本人・ご家族の意向をふまえた対応を行ってゆくことについては、相談員、他職種と連携を取りながら、本人の意向に沿うよう、早急または随時ご家族への報告相談に努め、対応することが出来た。

#### <2> 看取りケアの強化

- ・その方らしく、最期まで自分らしい生活であるために、ご家族、多職種協働にて随時ケアの見直し、検討にあたることについては、看取り介護の指針に沿って実施できた。
- ・延命行為、看取りの意向確認については、入居時に実施し、状態変化時には相談員を窓口で随時行なうことで、ご家族との共通認識とすることができた。都度、状態報告を行っていくことで、ご家族と良好な関係を築き、看取り期への移行時も受け入れがスムーズとなり、ご家族の精神面を支えることができた。

- ・体調不良者及び低栄養高リスク者の把握については、採血結果、毎月の体重確認、食事摂取状況などから、管理栄養士、介護スタッフと協力し、改善に向けて対策の検討を行い対応できた。

### < 3 > 褥瘡ケアの強化

- ・褥瘡ケアマネジメント加算の実施(1回/3ヶ月、必要時には随時)  
定期的、または随時、評価・検討を行い褥瘡の予防・改善に努めるについては、3ヵ月毎、状態変化時、褥瘡出現時、退院時など実施できた。入居時には、入居月内に実施できた。

### < 4 > 感染症対策の強化

- ・感染症対策委員会の開催については、毎月実施できた。
- ・コロナウイルス感染症に関しては、感染症対策委員会実施時に実施。  
コロナウイルスに関する情報の共有、感染予防対策、感染発症時の対策など検討を行い、早期対応にて、利用者の濃厚接触者、発症者を出すことなく、経過できた。
- ・年間を通して、職員出勤前の検温の実施については、毎日実施できている。入力を忘れた職員については、都度、入力いただくよう指示を行った。出勤時、退勤時(16時)に検温し入力、休みであれば8時に検温し入力実施。医務にて職員の体温や体調の確認を実施。(9時半、12時半、18時の3回)
- ・年間を通して、職員出勤前のアルコール手指消毒実施については、毎日実施できた。休憩前後、退勤時、ケア前後のアルコール消毒の徹底を呼び掛け実施できた。
- ・感染症流行時期の職員・入居者・利用者の受診時のマスク着用については、コロナ禍である為、常時着用とし、実施できた。  
感染症流行時期の面会者の手洗い・マスク着用についてはコロナ対策として、手指洗浄・アルコール消毒・N95マスクの上からサージカルマスク着用とし実施できた。コロナウイルス感染ステージや、面会者のワクチン歴により、面会制限を行い、感染を予防がすることができた。面会時は2人まで10分以内を徹底した。
- ・感染症流行時期の公用車のアルコール噴霧については、コロナ対策として毎回実施できた。
- ・コロナ対策、感染性胃腸炎対策として、次亜塩素酸ナトリウム0.05%液とした。医務職員が15時にユニットに配布し、感染予防に努めることができた。
- ・情報収集に努め、その他の感染症の流行前からの注意喚起については、コロナウイルスが中心となったが、保健所を中心に、国立感染症センター、職員家族の学校からの通達等、公式な情報収集に努め、会議時に周知できた。

### < 5 > 職員の健康管理

- ・健康診断(1回/年)については、9月2日、対象職員48名全員実施できた。  
有症者26名に対し、健康指導を行った。
- ・夜勤従事者(2回/年)については、3月6日に対象職員18名中17名実施。  
4月12日、野上病院にて1名実施。対象者全員実施出来た。
- ・腰痛問診(2回/年)については、10月対象職員41名、3月対象職員43名  
全員実施できた。
- ・コロナ予防接種については4回目7月20日12名、8月26日16名、オミクロン株対応(2価)ワクチン11月24日18名、12月8日13名それぞれ実施できた。
- ・インフルエンザ予防接種については、10月13日38名、10月20日1名、対象職員  
全員実施できた。

### < 6 > 看護、介護が連携して充実したケアが行ってゆけるよう、研修等の実施について

- ・コロナウイルス感染症対策として、3つの密を避けるため、これまでの集合しての勉強

会を中止、相談員主体となり、e-ランニング動画による学習、個人でのレポート提出となった。

- ・利用者の介護をするにあたり必要な知識については、必要時、マニュアルを作成しユニットに配布行った。
- ・感染症対策については、コロナ対策としてゾーニング(机上・図上訓練)、ガウンテクニックにおいては個々に着脱指導を行い、注意点を理解し正しく行えているかの確認を行った。
- ・介護職員によるたんの吸引等の実地研修については、周辺地域においてもコロナウイルス感染症の拡大あり、本年度は申請者の選出は行わず。
- ・安全委員会(1回/月)開催については、毎月開催できた。特定の対象者に対する特定行為業務について、実施後の報告を行い、問題なく実施できた。

まとめとして

前年度からコロナウイルス感染の以降も随時、情報収集、周知、資料設置、ご家族への面会自粛依頼の他、出入り業者の検温と玄関先での対応にて感染予防の強化に努めた。職員の体調管理、それぞれが自己管理に努め、体調不良時等の早期対応の徹底ができた。それらの感染予防対策により今年度は施設内での感染症の流行は見られず。利用者のコロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルスなどの感染症の発症は見られなかった。

褥瘡については、早期のマット調整や嘱託医往診にて、予防、悪化防止に努めることができた。また、褥瘡対策委員会を毎月開催できたことにより、多職種連携が強化され、ケアの向上にも繋がった。

看取りについては、ご本人の意向に沿った日常生活の援助、安楽への援助、好みのものの提供等を、ご家族、多職種と連携を取り実施できた。コロナ禍において面会制限はあるが、看取り期においては面会可能(感染対策をとったうえでの2人ずつ、10分以内の面会)とし、最期の時間をご家族と過ごしていただくことができた。

延命行為、看取りの意向確認については、入居時、状態変化時など、必要時には随時見直すことができた。看取り期には更に詳細な意向を確認し、ご家族に寄り添い、精神的負担の軽減を図ることができた。延命行為については、ご家族様に助言を行い、意思決定への支援ができるよう、職員側が専門的な知識を持ち、さらに見識を高めていく必要がある。

今後も、入居者様、ご家族様に最後まで寄り添い、温かい支援ができる様、多職種連携し取り組んでいきたい。

以上

## 令和4年度栄養課 事業報告書

### 1. 運営目標

「ごはんがきたよ」から「ごはんができたよ」へ

### 2. 運営方針の遵守

①おいしく楽しく安全な食事の提供をおこない、ユニットでの盛り付け・調理の推進につとめました。

◎温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、家庭での食事と同様の食事提供ができるよう、つとめました。

カートでの食事配膳・ユニットでの炊飯・鍋や大皿での配膳、瀬戸物の食器を使用するこ



とで、ユニットごとに適温でおいしく、楽しい食事時間をすごすことができるよう、つとめました。

◎ユニットの入居者様の嗜好や、季節に合わせたクッキングをユニットごとに行いました。食べたいものを自分たちでつくる楽しさ、おいしさを実感していただけるよう、つとめました。

◎個々の嗜好とこれまでの食生活を大切に、できるだけおなじ食生活が継続できるよう、つとめました。また、今食べたいものにこたえられるよう、柔軟な個別対応につとめました。

◎食べる機能に合わせた形態での食事の提供をおこない、おいしく安全に食事ができるよう、つとめました。  
飲み込む昨日が低下している方には嚥下テスト等をおこない、それぞれの機能に合わせた形態での提供につとめました。

②栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の把握・こころと体の健康維持につとめました。

◎栄養ケアマネジメントを通して「食べること」という生活の一側面から、個々の入居者様をサポートし、食べる楽しみ・よろこびのある暮らしとなるよう、つとめました。

◎看取りケアにおける「食」のかかわりを大切に、最期までその人らしい「食」が継続するよう、つとめました。

◎食べたい時に食べたいものが食べられ、飲みたいものが飲める環境をととのえ、最期までその人らしい「食」が楽しめるよう、つとめました。

④褥瘡ケアにおける「食」のサポートにつとめました。

◎褥瘡対策委員会の設置により、定期的に褥瘡の有無・評価・検討をおこないました。高エネルギー高たんぱく食、無機質の付加等、栄養状態の改善につとめ、褥瘡の早期改善に向けた栄養面からのサポートをおこないました。

⑤衛生管理の徹底・食中毒の予防につとめました。

◎食中毒の発生や異物の混入などを防ぐため、厨房内個人衛生や安全衛生のチェック、害虫駆除等をおこないました。

ユニットにおける調理盛り付けの際、安全においしく食事が提供できるよう、ユニット内衛生環境のチェック、個人衛生、細菌検査をおこないました。

### 3. 事業内容

毎月の誕生日ケーキの提供、一人ひとりの誕生日にその方の希望する食事の提供を行いました。また、ユニットクッキングの実施など行いました。

みんなの日曜日と題し、年に3回、吉野家、COCO 老番屋の食事を提供しました。

時季の食材を使用し、伝統的歳時に合わせた食事の提供につとめ、毎日食べる楽しみをもっていただけるよう、つとめました。